

シ一昼夜ニ付三人分（食事付）ヲ支給ス、キハ首ヲ本社若林  
技師日及ヨリ甲一度ニタルニ助手ハ之ヲ以テ甚々薄シトナシ  
春日葵発電所助手田中貢二郎外二十名、運転收工作製  
ニ待遇改善、要求ヲナシトセルニヨリ、会社十四日支給額  
不改ムルコト、ナリ、助手等漸々滿足ノ意ヲ表エリ、商會社ノ復  
職エ工帰宅リ其ノ身辺誘惑危險、伴フニ上慮リ萬止ム  
得サル者ノ外、会社三宿泊セレシ、是足等ニ対スル無聊チ  
屬ルニ為、活動寫眞、落語、甚而高畠芭芋ヲ設備シ娛樂  
慰安法ヲ講じ居レリ

（五月十四日）

次增加シ會衆約六百名（友愛公及電業組合）ニ達シ東忠續  
外二十三名、五分儀說アリ、就中解雇者一名増上ニ現公シ  
爲シ聽衆、人氣ヲ沸騰セシメ今時半頃解散セリ  
之ニ先手友愛会安治川支部長東忠續等の演說会開  
後ニ於テ安治川及春日出兩發電所ニ至ル、而ハ示威運動  
ヲ企テ九條署ニ届出文モ之ヲ許サゾレシテ東ハ会  
場ニ於テ報告シ日ニ其運動ヲ終過スル如テ口吻アリ  
聽衆中發電所職工及友愛会所屬造船勞働組合  
新進会員等約五百名人全員解散後隊形ニ用意シ未  
ル、會旗大旗ヲ押立テ今場ニ發電車道ニ沿ヒ東ニ馳  
駆スルニ至リ途中之ニ追従スル者漸々多キヲ加ヘ一時約  
八百名ニ達シタルモ端建橋、於テ之ヲ阻止スルヲ得  
シ、而レテ今所ニ於テ之ヲ解散セシコト不能ノ狀態ニアル